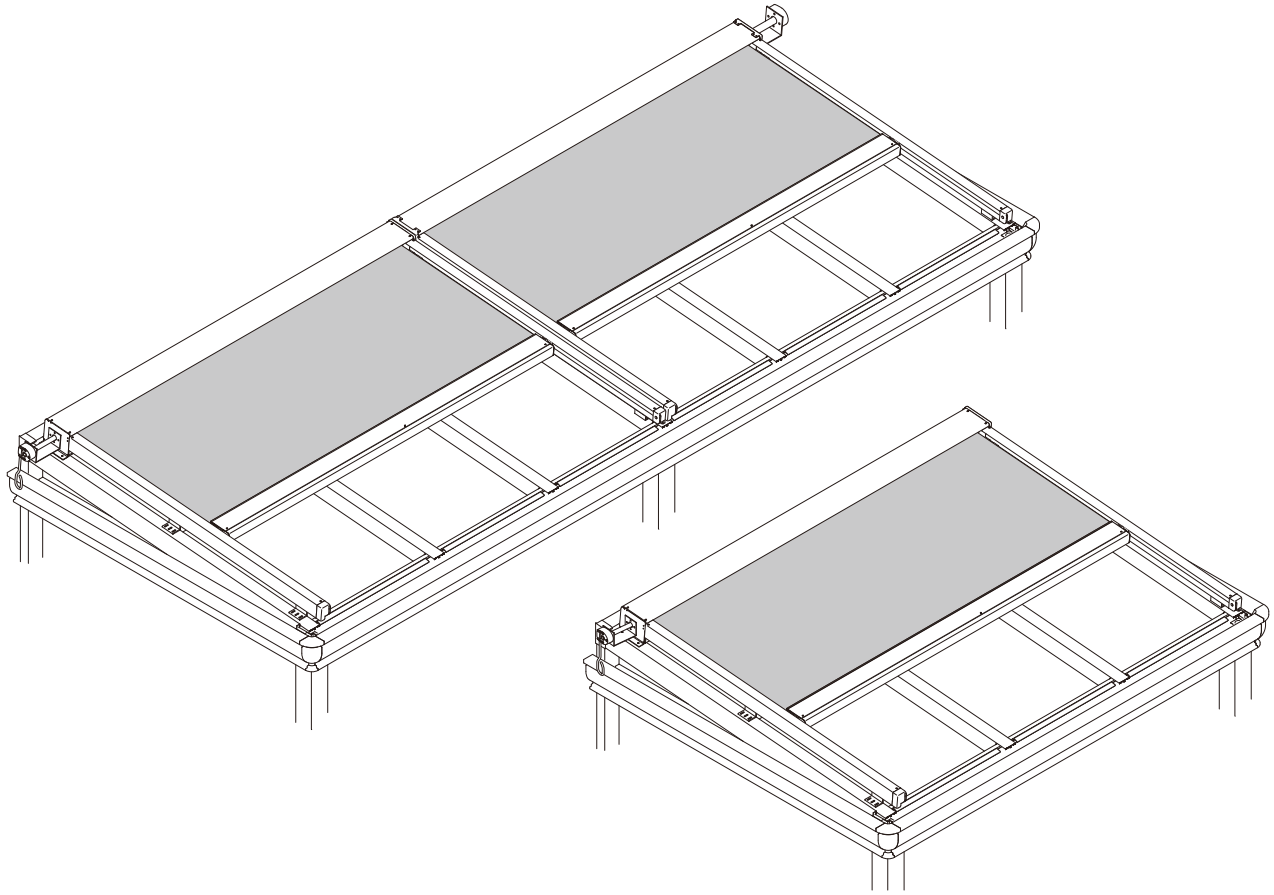
LIXIL

E329
取付説明書

外部日除け　手動用

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。



■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

安全に関する記号と説明

⚠警 告：取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。

⚠注 意：取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示します。

情報に関する記号と説明

お願い：注意点や不具合を防ぐ上で確認して頂きたいこと、推奨される方法などを示します。

Pポイント：説明の内容および部品などに関して知っておくと便利なことや、取付作業中における確認方法などを示します。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

⚠ 注 意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

お願い

●正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>

⚠ 注 意

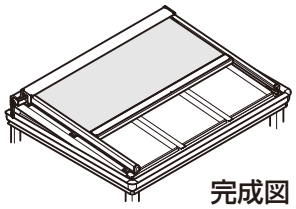
●ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後に、ゆるみ・ガタツキがないか確認してください。
φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m(30±5kgf・cm)
M6ボルト：5.2N・m±0.5N・m(52±5kgf・cm)
●アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●施工終了後は、ボルト・ネジなどにゆるみがないか確認してください。

お願い

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。
免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

1 各部の名称 ※図は暖簾物語に施工する場合を示します。

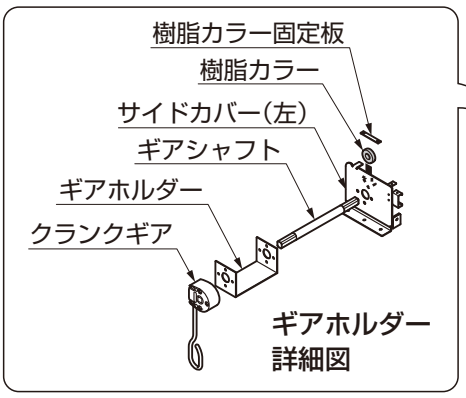
1-1 単独施工



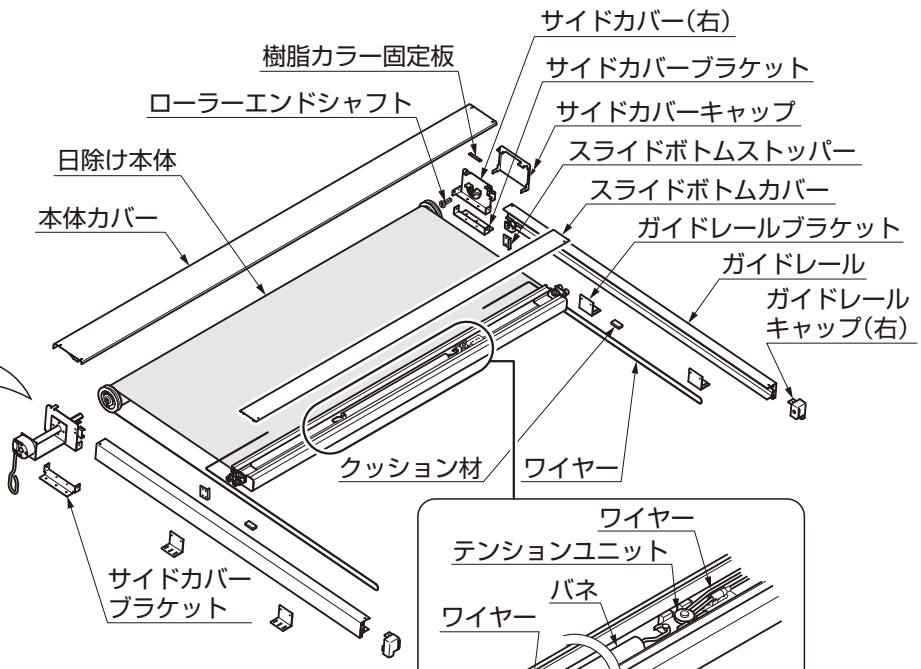
完成図

ポイント

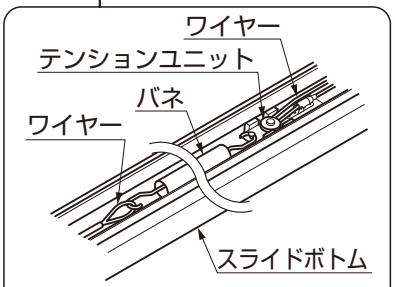
●本取説では駆動部(ギア)が外観左側の場合を記載します。



ギアホルダー詳細図

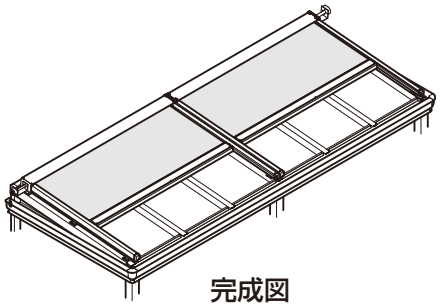


各部の名称

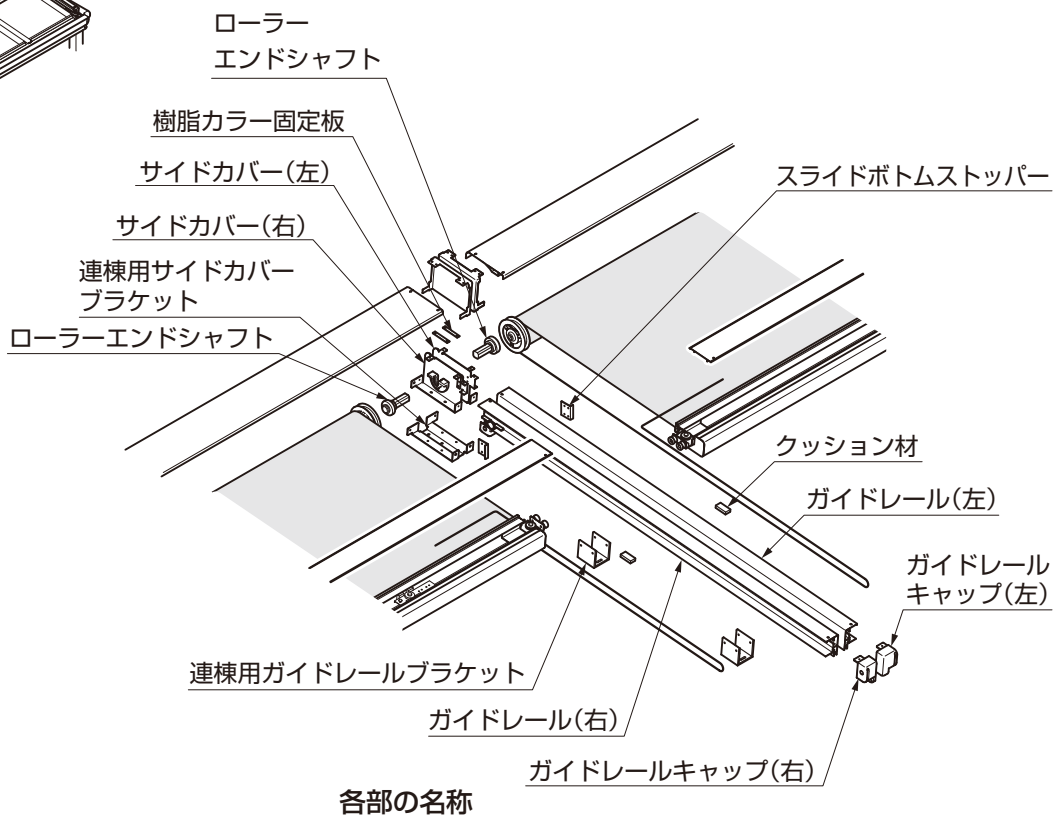


スライドボトム詳細図

1-2 連棟施工



完成図



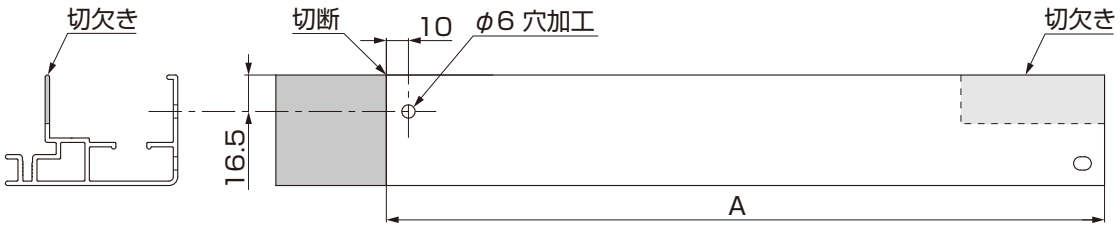
各部の名称

E329_201610E

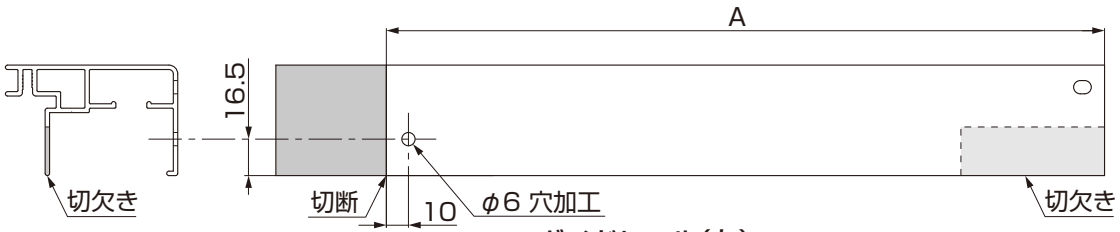
2 事前準備

2-1 ガイドレールの加工

①ガイドレールを切欠きのない側から切断してください。
②切断側の端部にφ6の穴加工をしてください。



ガイドレール(右)



ガイドレール(左)

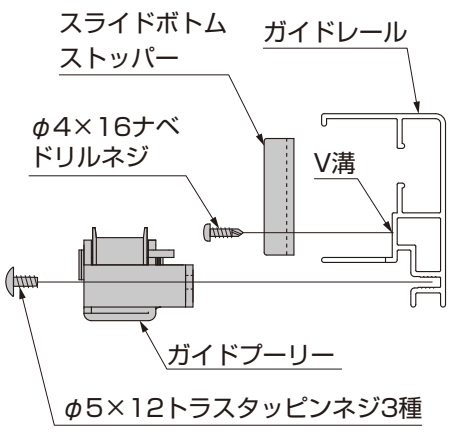
ガイドレールの切断長さ(A寸法)

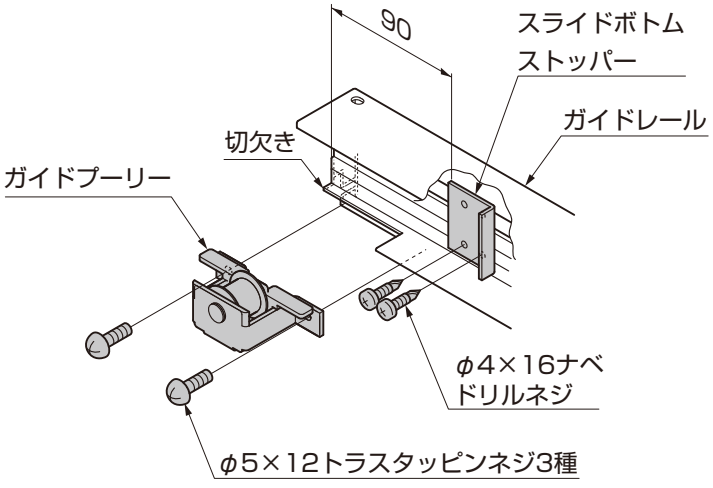
	4尺	6尺	8尺	10尺
暖簾物語	—	「D18」−140	「D24」−140	「D33」−240
ジーマ	—	「D18」−130	「D24」−120	「D33」−215
ココマ	「D18」−725	「D18」−115	「D24」−105	「D33」−195

2-2 ガイドプーリーとスライドボトムストッパーの取付け

※図は外観右側を示しています。外観左側は対称です。

①ガイドプーリーをガイドレールの切欠きに合わせてセットし、【ネジ】で取付けてください。
②スライドボトムストッパーをガイドレールに【ネジ】で取付けてください。



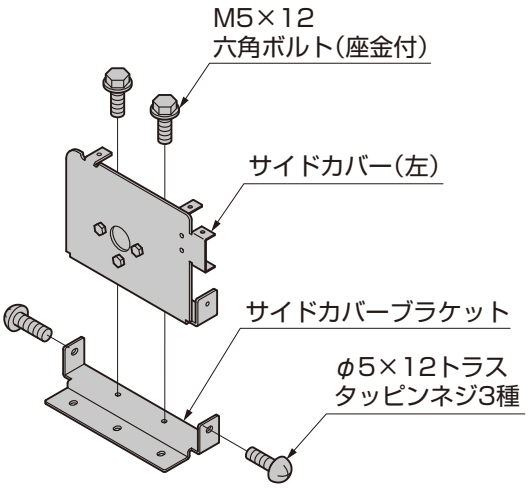


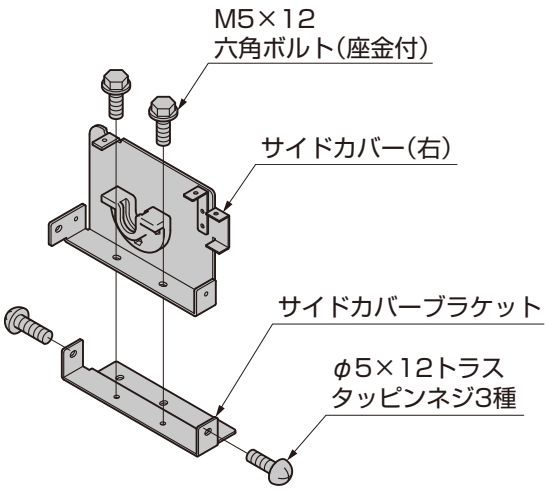
3 ガイドレールの組立て

※地上で行なう作業です。
※単独施工、連棟施工 両端部の作業です。

3-1 サイドカバーの組立て

①サイドカバーブラケットをサイドカバーに【ネジ】、【ボルト】で取付けてください。



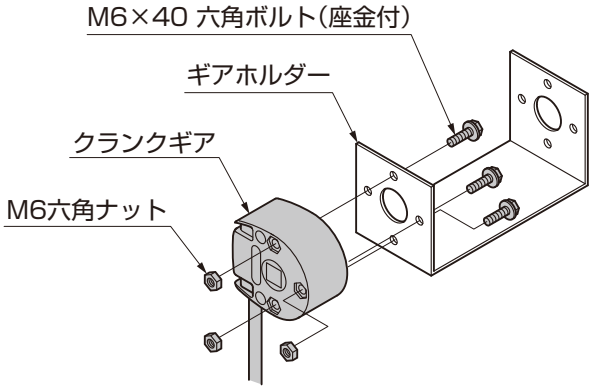


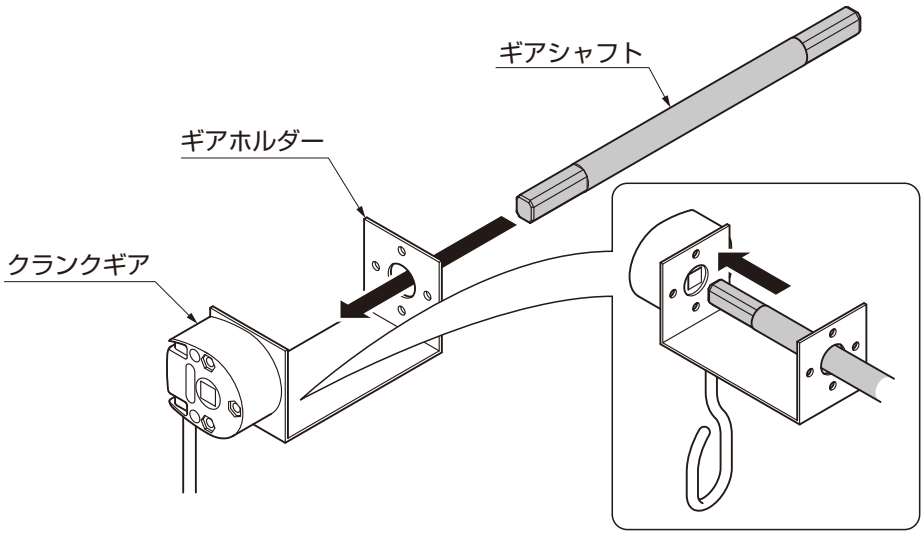
3-2 駆動側サイドカバーの組立て

①クランクギアをギアホルダーに【ボルト】、【ナット】で取付けてください。
②ギアシャフトをクランクギアに差込んでください。

P ポイント

●クランクギアは裏返しでも使用できます。
躯体側の状況に応じて取付けしてください。

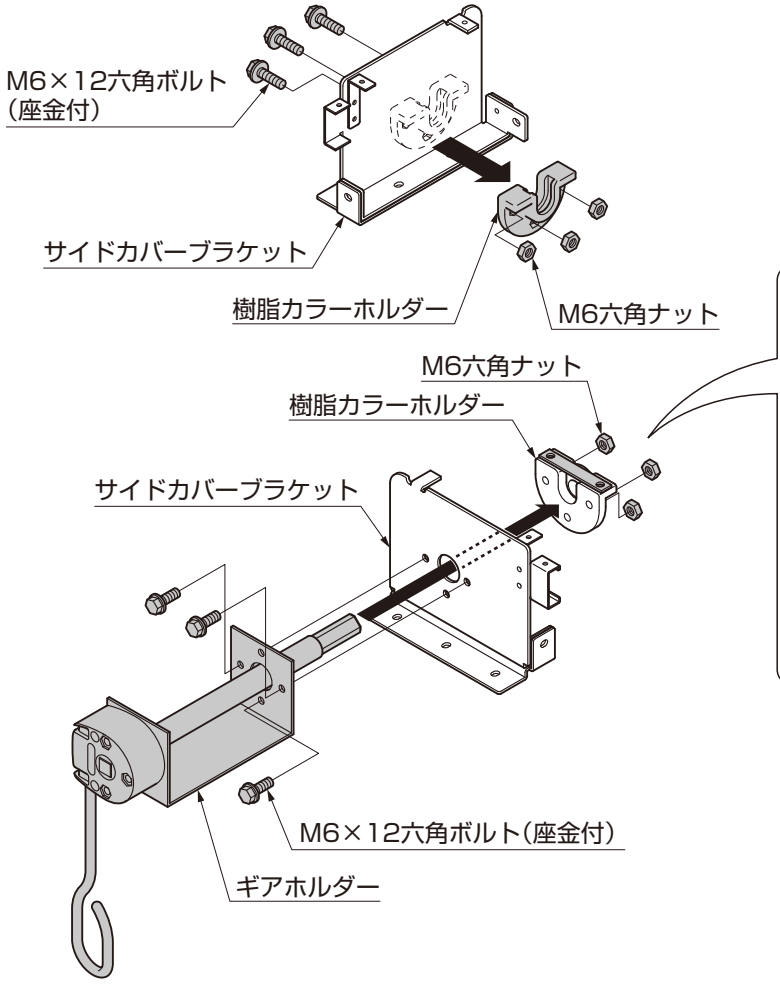


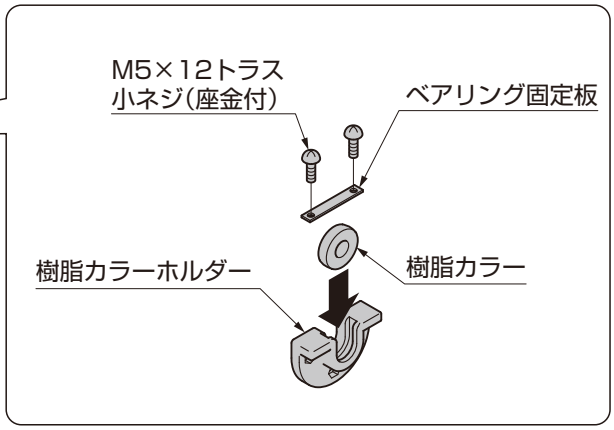


E329_201610E

3-2 駆動側サイドカバーの組立て(つづき)

③樹脂カラーホルダーをサイドカバーブラケットから取外してください。
④ベアリング固定板、樹脂カラーを樹脂カラーホルダーに【ネジ】で取付けてください。
⑤ギアホルダー、樹脂カラーホルダーをサイドカバーブラケットに「M6×12六角ボルト(座金付)」「M6六角ナット」で取付けてください。





ポイント

●取り外したボルト・ナットは後で再度使用しますのでなくさないようにしてください。

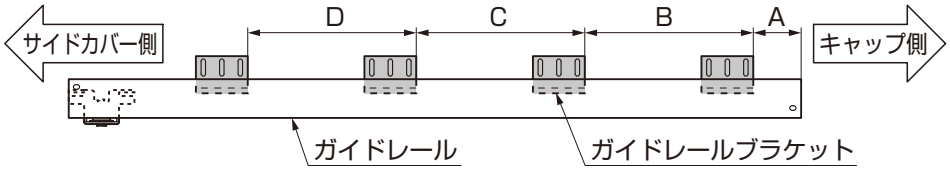
ポイント

●取付けるネジは③で取り外した「M6×12六角ボルト(座金付)」「M6六角ナット」で取付けてください。

3-3 ガイドレールブラケットの取付け

(1)取付位置の確認

①ガイドレールブラケットの取付位置は機種や出幅で異なります。取付位置を確認してください。



ガイドレールブラケット取付位置(上面図)

ポイント

●現場で切詰めたガーデンルームへのブラケット取付位置は切詰寸法を等分した寸法を差引くなどして調整してください。

取付位置(暖蘭物語)

	A	B	C	D
6尺	90	840	−	−
8尺	90	740	790	−
10尺	85	695	745	745

取付位置(ジーマ)

	A	B	C	D
6尺	80	765	−	−
8尺	80	765	720	−
10尺	80	585	720	720

取付位置(ココマ)

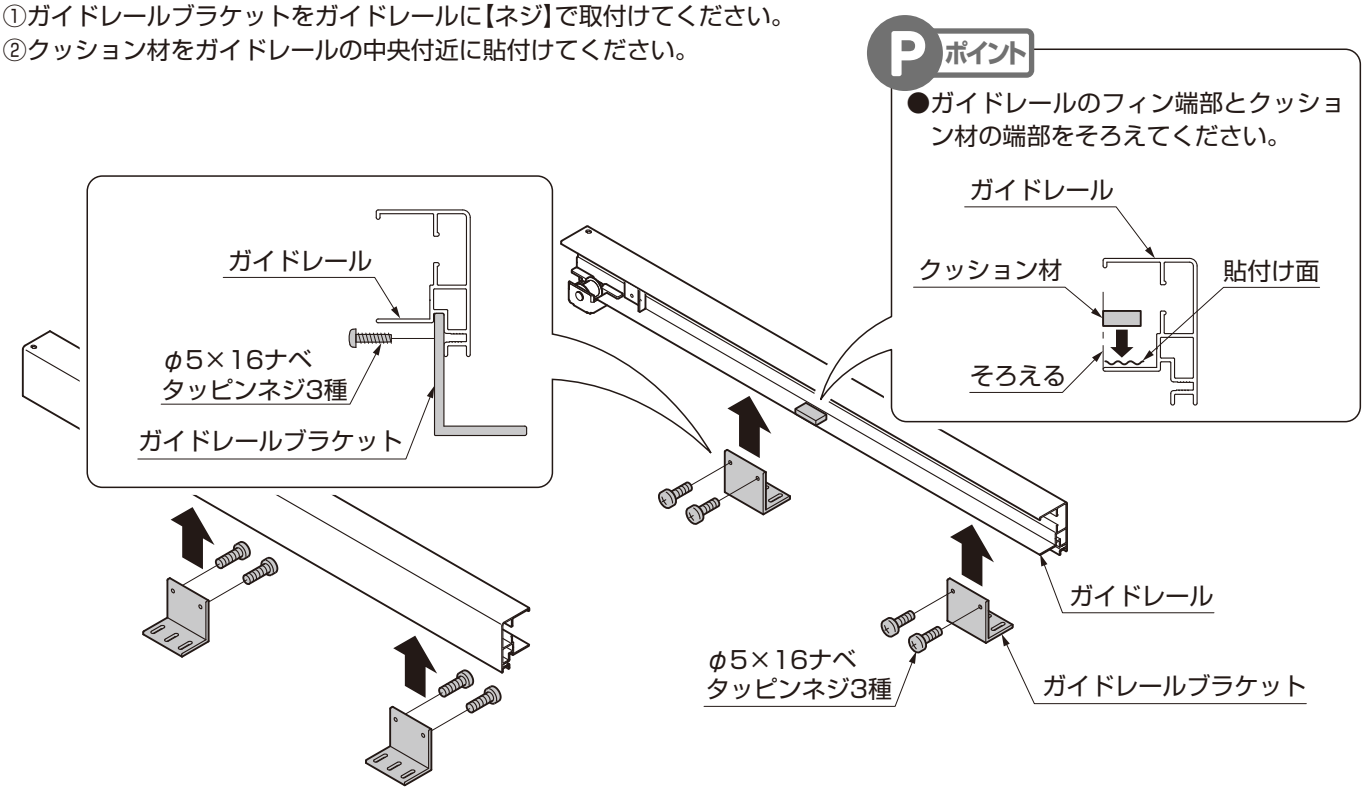
	A	B	C	D
4尺	90	−	−	−
6尺	90	840	−	−
8尺	90	770	770	−
10尺	85	695	745	745

E329_201705F

3-3 ガイドレールブラケットの取付け（つづき）

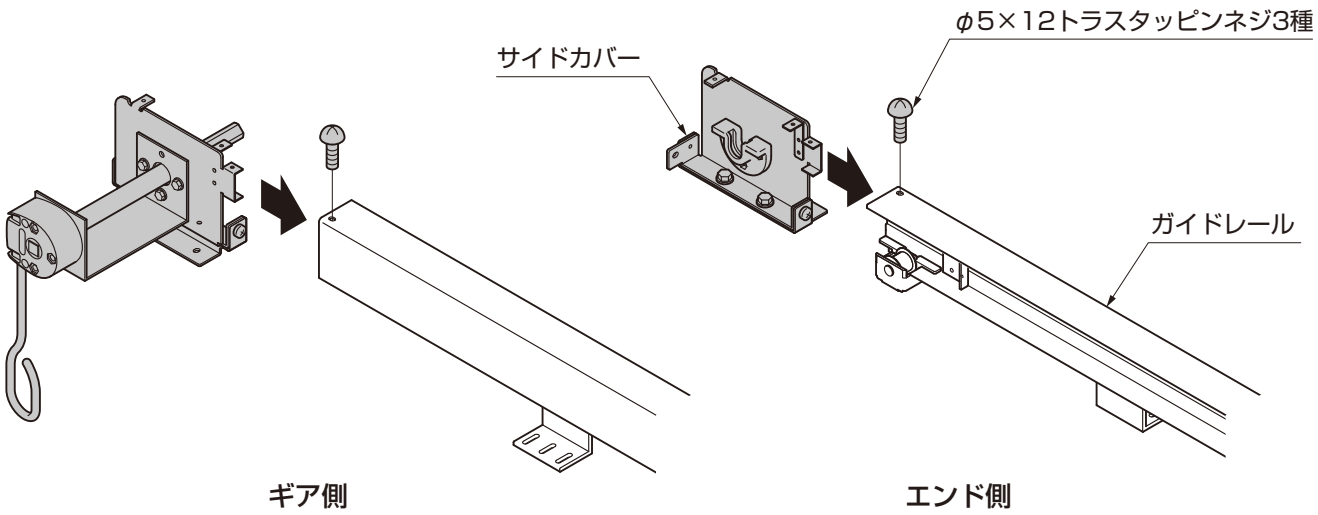
(2)ガイドレールブラケットとクッション材の取付け

①ガイドレールブラケットをガイドレールに【ネジ】で取付けてください。
②クッション材をガイドレールの中央付近に貼付けてください。



3-4 サイドカバーとガイドレールの取付け

①サイドカバーをガイドレールに【ネジ】で取付けてください。



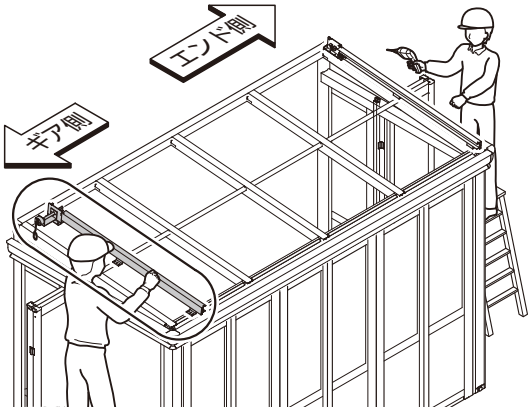
4 ガイドレールの取付け

4-1 部材の仮置き

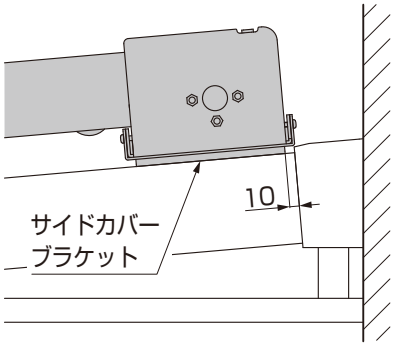
①組立てたガイドレールを垂木カバーの所定の位置に置いてください。
②位置決めした所から動かないようにテープなどで仮固定をしてください。

P ポイント

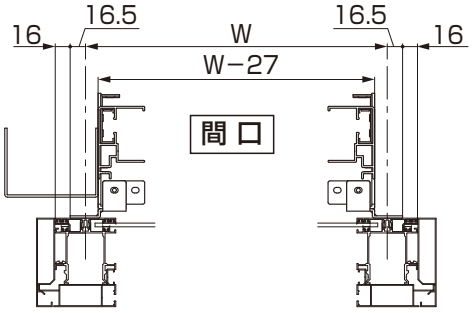
●各ブラケット取付穴の中心と垂木カバー中心が合う位置に置いてください。



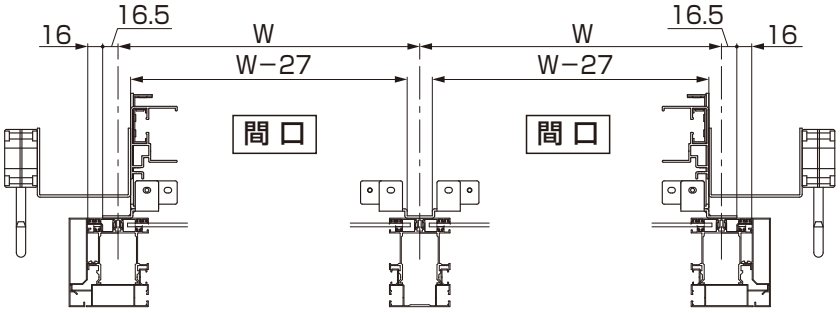
単独施工



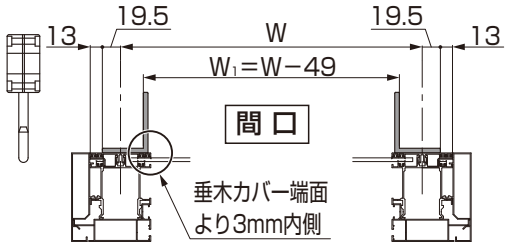
出 幅



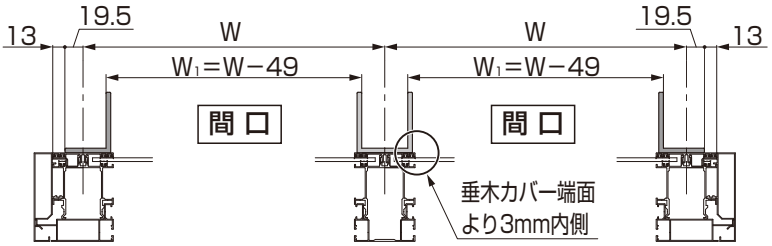
単独 サイドカバーブラケット側



連棟 サイドカバーブラケット側



単独 ガイドレールブラケット側



連棟 ガイドレールブラケット側

垂木カバー芯々寸法(W)

1.0間	1.5間	2.0間
1820	2730	3640

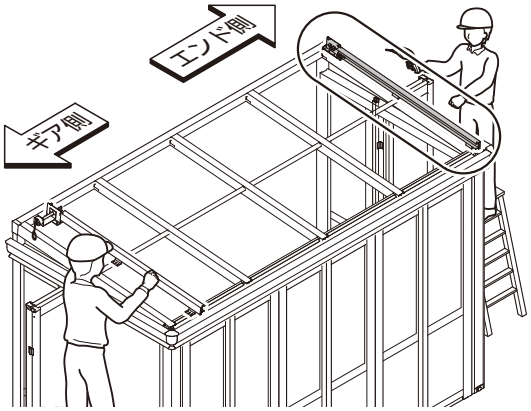
ガイドレールブラケット間寸法(W_1)

1.0間	1.5間	2.0間	2.5間		3.0間	
			1.0間側	1.5間側	1.5間側	1.5間側
1771	2681	3591	1771	2681	2681	2681

4-2 垂木カバーへの穴加工

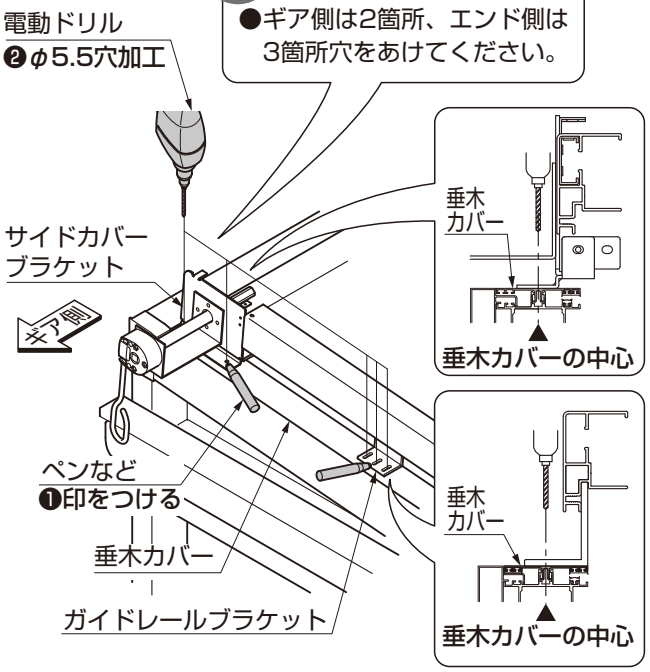
①各ブラケット取付穴の中心で垂木カバーに印をつけてください。
②垂木カバーの印をつけた位置にφ5.5の穴加工をしてください。

ポイント
●φ5.5穴加工は垂木カバーのみです。
その下の垂木に貫通させないでください。

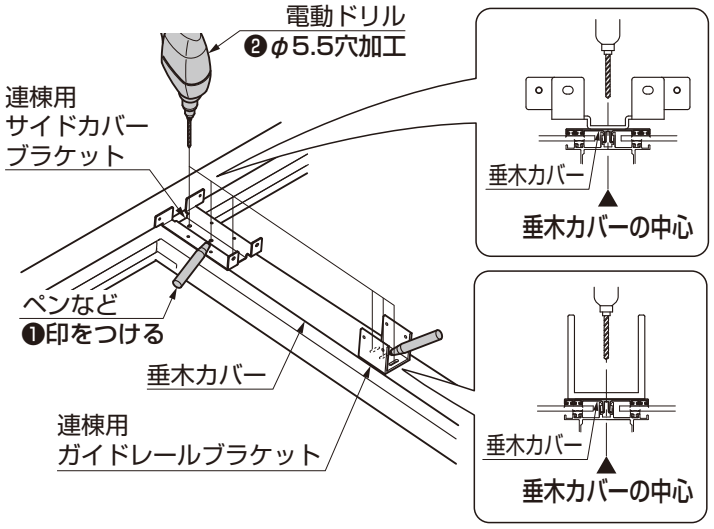


単独施工

ポイント
●ギア側は2箇所、エンド側は
3箇所穴をあけてください。



単独施工、連棟施工 両端部の場合



連棟施工 連棟部の場合

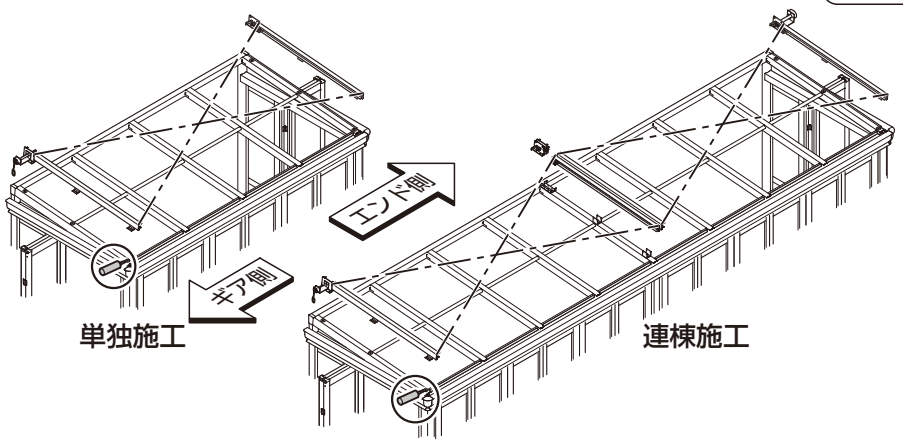
E329_201610E

4-3 下穴のシーリング

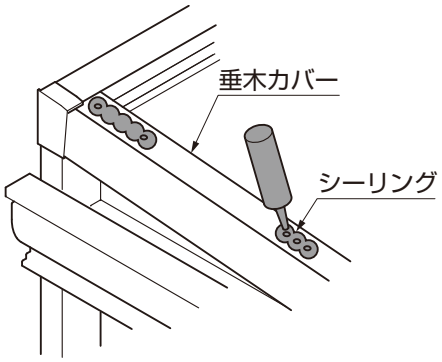
①垂木カバーにあけた下穴と周囲をシーリングしてください。

ポイント

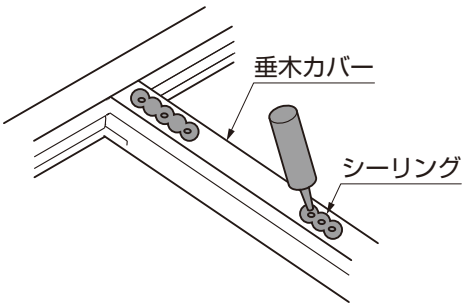
●シーリング材は穴の周囲にも塗布してください。



単独施工　　連棟施工



単独施工、連棟施工 両端部の場合

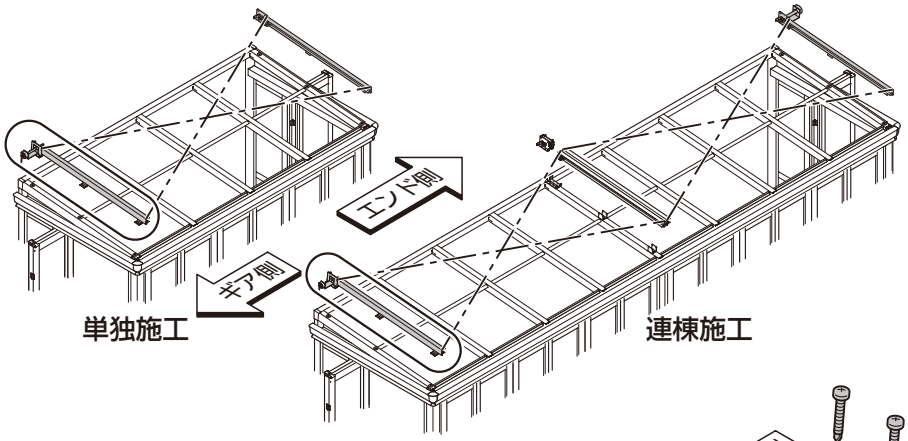


連棟施工 連棟部の場合

4-4 ガイドレールの仮固定

※単独施工、連棟施工 両端部の作業です。

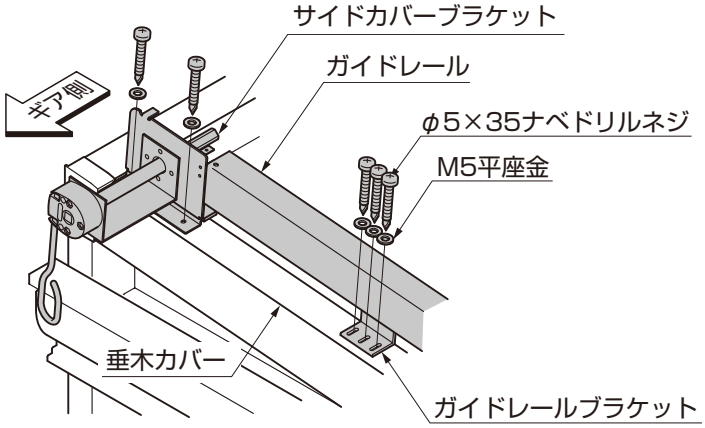
①組立てたガイドレールを垂木カバーに【ネジ】で仮固定してください。



単独施工　　連棟施工

ポイント

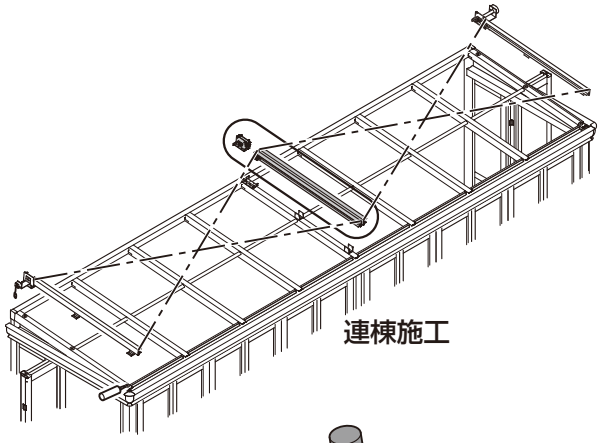
●エンド側は3箇所ネジで仮止めしてください。



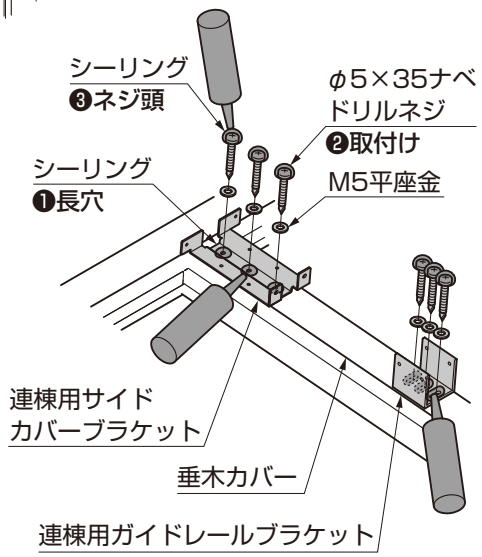
E329_201610E

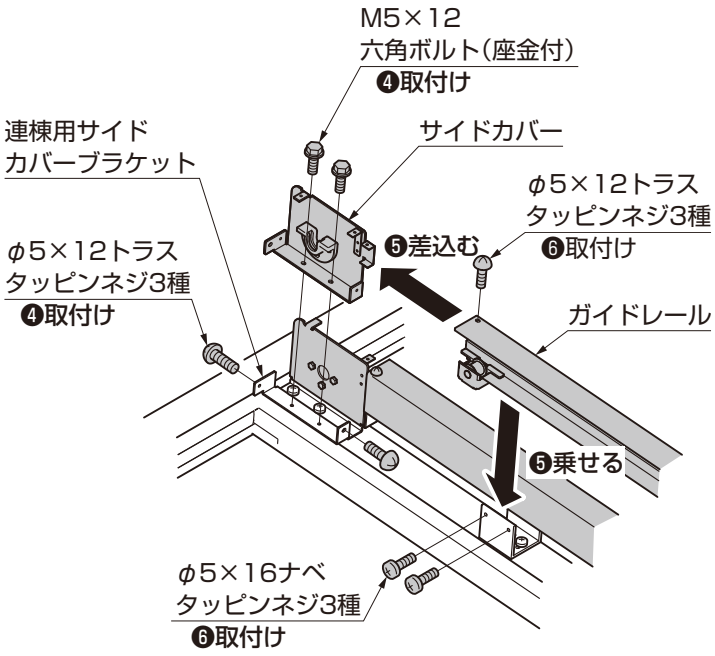
4-5 ガイドレールの取付け　※連棟施工の作業です。

①各ブラケットの長穴にシーリングしてください。
②各ブラケットを垂木カバーに【ネジ】で取付けてください。
③ネジ頭を覆うようにシーリングしてください。
④サイドカバーを連棟用サイドカバーブラケットに【ネジ】、【ボルト】で取付けてください。
⑤ガイドレールを各ブラケットに設置してください。
⑥ガイドレールを各ブラケットに【ネジ】で取付けてください。



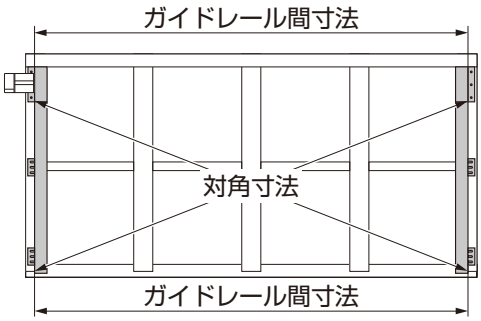
連棟施工



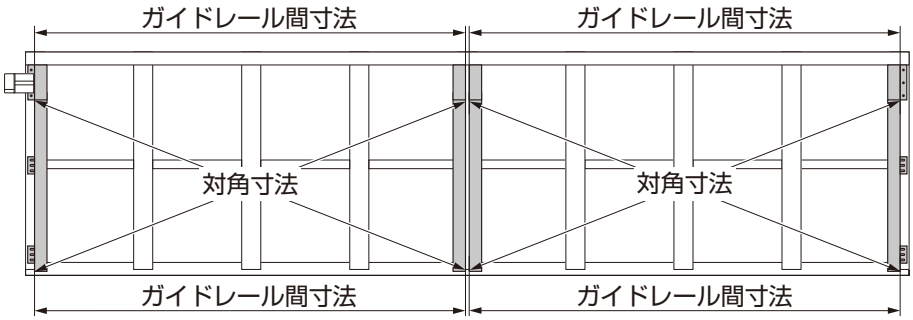


4-6 ガイドレール間寸法の確認

①ガイドレール間寸法を参照し、対角寸法の差は3mm以内になるように調整してください。



単体施工



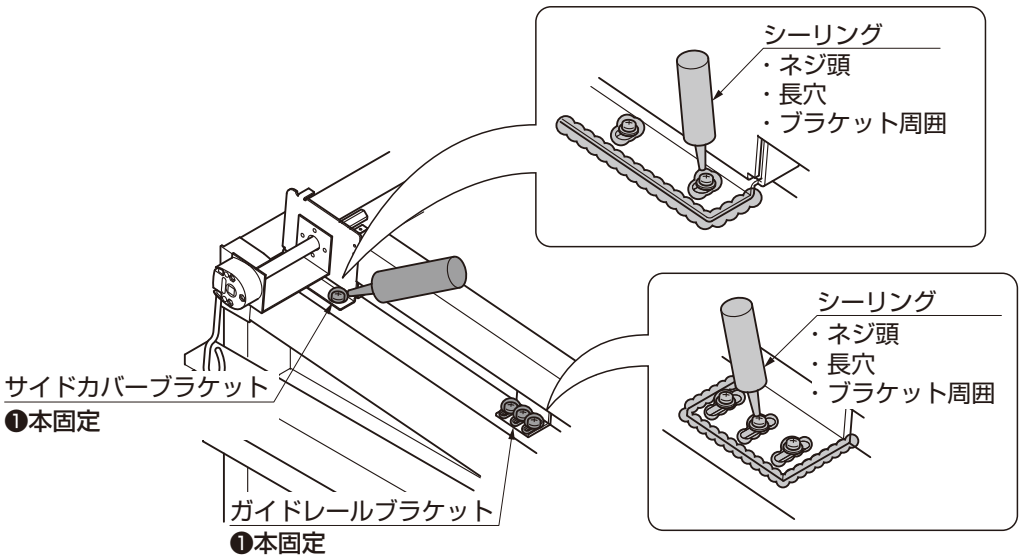
連棟施工

ガイドレール間寸法

1.0間	1.5間	2.0間	2.5間		3.0間	
			1.0間側	1.5間側	1.5間側	1.5間側
1799	2709	3619	1799	2709	2709	2709

4-7 ブラケットの固定 ※単独施工、連棟施工 両端部の作業です。

①仮固定していた各ブラケットを本固定してください。
②各ブラケットの周囲、長穴および固定ネジ頭をシーリングしてください。

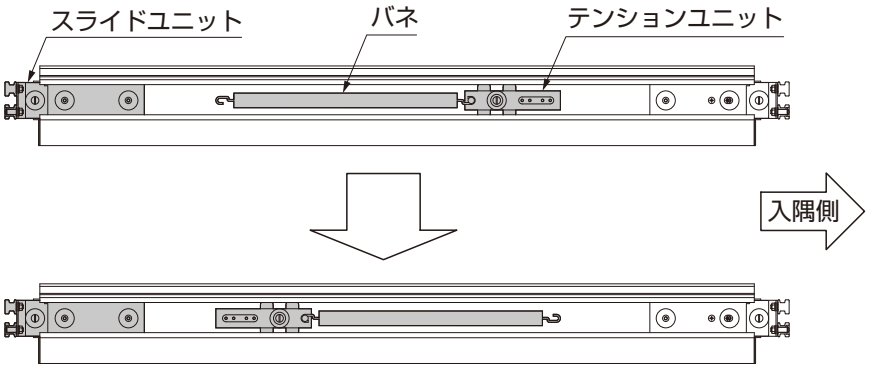


5 スライドボトムの準備 ※入隅の場合に作業を行なってください。

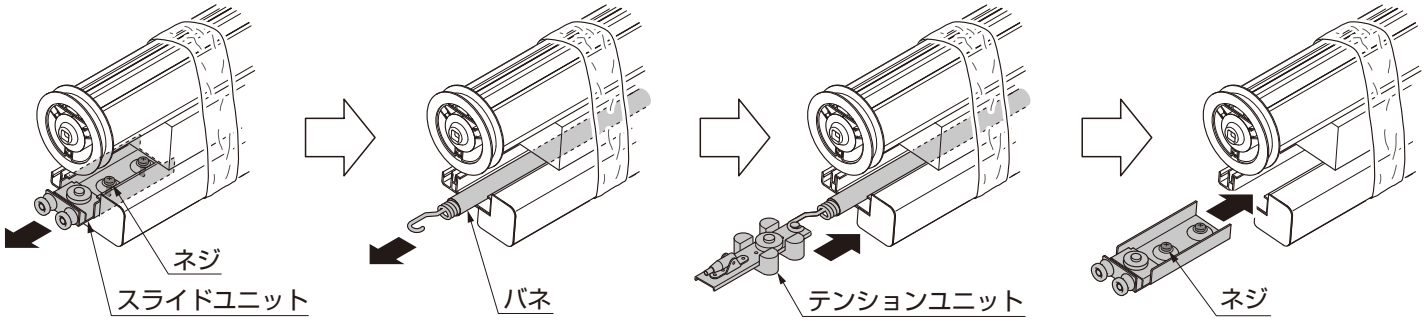
①片方のスライドユニットのネジをゆるめて引抜いてください。
②バネとテンションユニットを引抜いてください。
③テンションユニットとバネの配置を組替えてスライドボトムに差込んでください。
④スライドユニットをスライドボトムに差込んでネジを仮止めしてください。

ポイント

- ●日除け本体とスライドボトムは締結したままで作業を行なってください。
- ●入隅と反対側にテンションユニットを配置してください。
- ●テンションユニットはワイヤーを引っ張ってスクリーン生地の張り調整をする部品です。
- ●作業は脚立の上ではなく地面で行なってください。



スライドボトム



❶片方のスライドユニットのネジをゆるめる

❷バネとテンションユニットを引抜く

❸テンションユニットとバネの配置を組替える スライドボトムに差込む

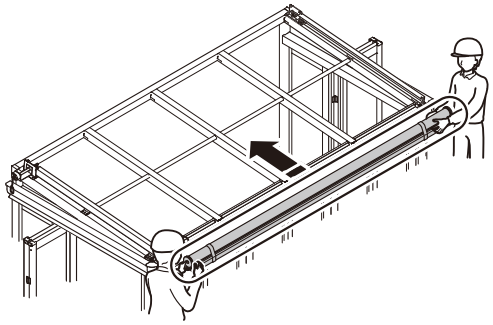
❹スライドユニットをスライドボトムに差込む ネジを仮止めする

E329_201610E

6 日除け本体の取付け

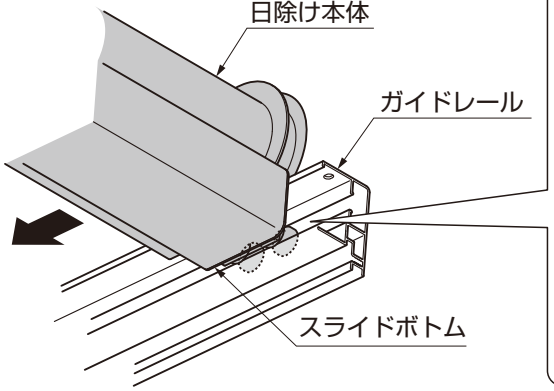
6-1 スライドボトムの挿入

①スライドボトムをガイドレールに挿入してください。



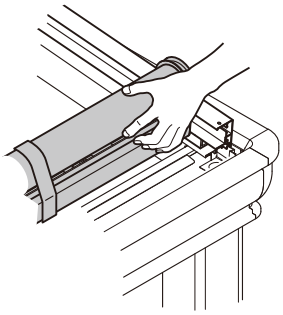
ポイント

- ●作業は必ず2人以上で行なってください。
- ●日除け本体とスライドボトムは締結したままで作業を行なってください。



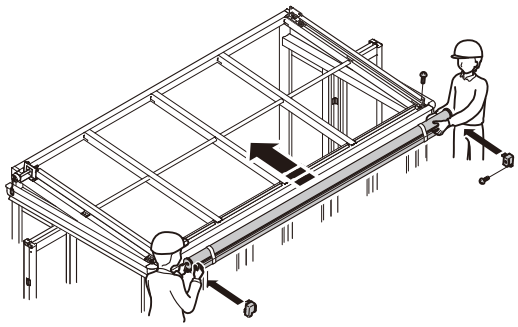
ポイント

- ●スライドボトムはガイドレールキャップを固定するまでは落下しないよう手などで押さえてください。



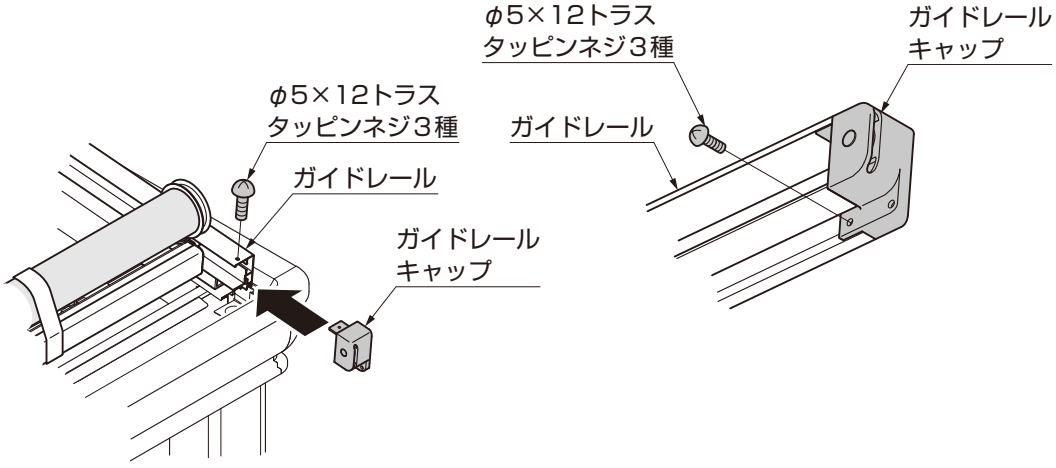
6-2 ガイドレールキャップの取付け

①ガイドレールキャップをガイドレールに【ネジ】で取付けてください。



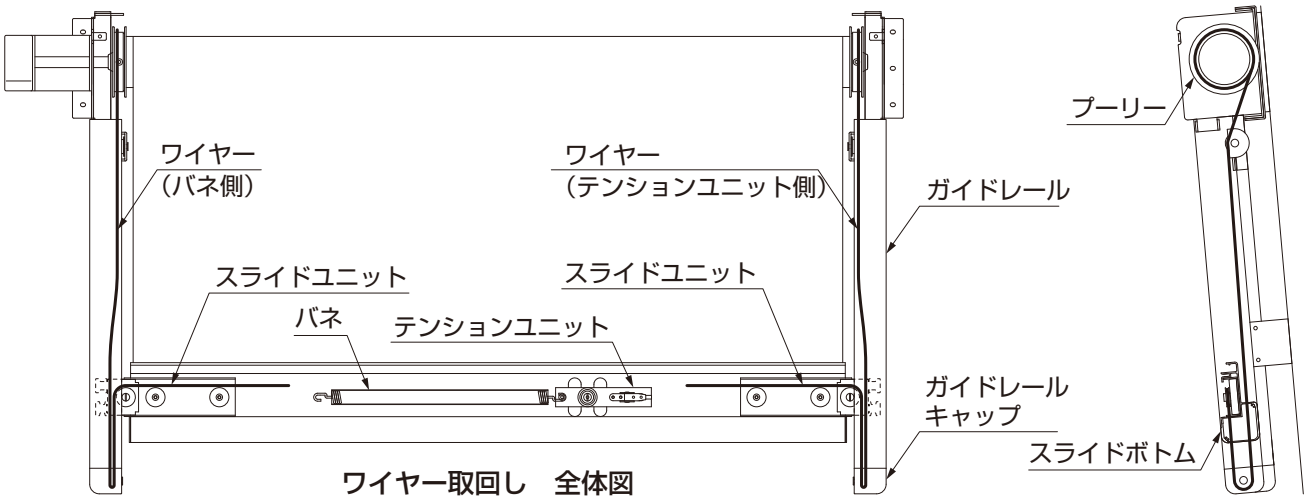
ポイント

- ●作業は必ず2人以上で行なってください。
- ●日除け本体とスライドボトムは締結したままで作業を行なってください。



E329_201610E

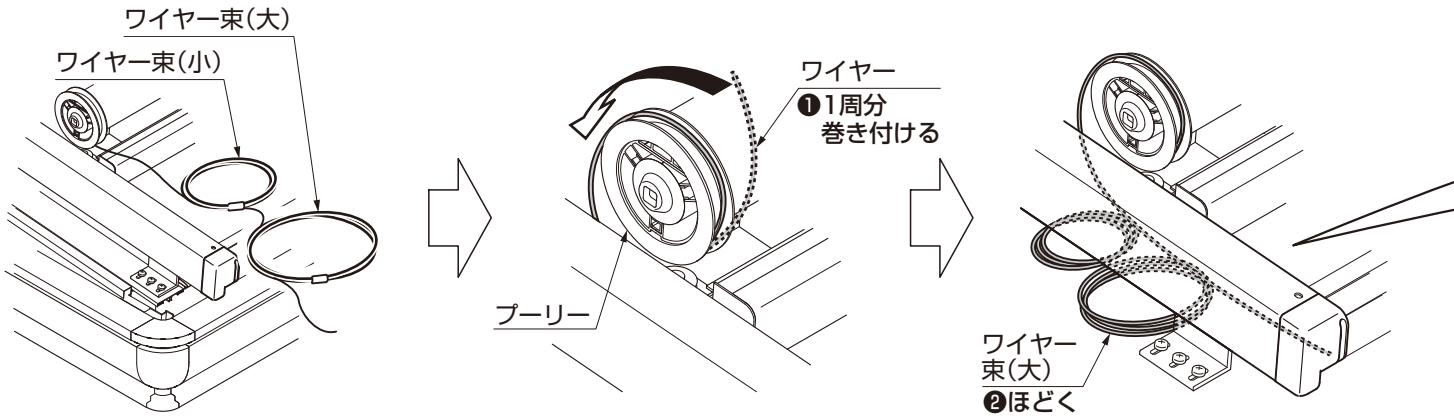
6-3 ワイヤーの取回し



ワイヤー取回し　全体図

(2)ワイヤーの取回し

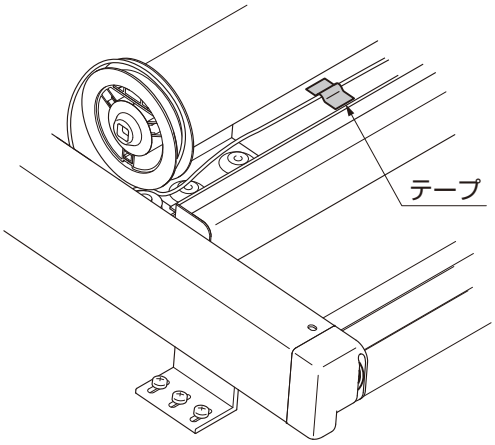
①ワイヤーをプーリーに1周分巻き付けてください。
②ワイヤー束(大)をほどいてください。
③ワイヤーをスライドボトムの下側からガイドレールキャップの方に回してください。
④ワイヤーをガイドレールキャップに下から上に引っ掛けてください。
⑤ワイヤーをガイドレールとスライドボトムのすき間よりローラーに引っ掛けて、スライドボトム内に回してください。



❶ワイヤーをプーリーに巻き付ける　　❷ワイヤー束をほどく

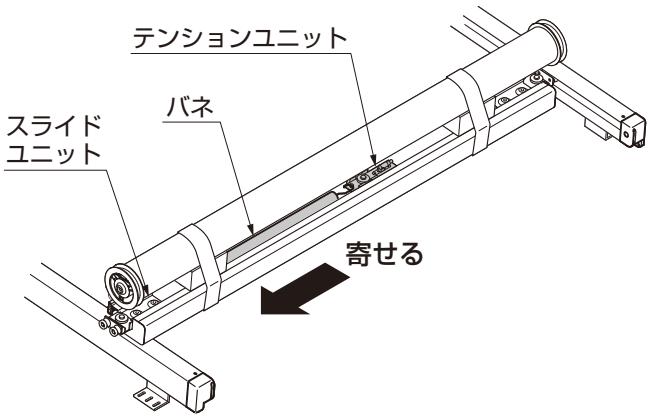
(3)バネ側ワイヤーの仮止め

①ワイヤーが垂れ下がらないように、テープなどで仮止めしてください。

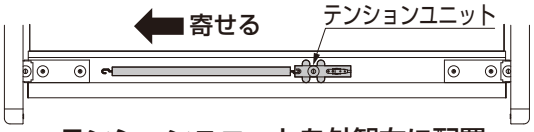


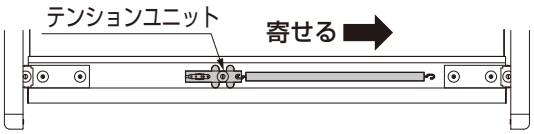
(1)テンションユニットの配置

①テンションユニットとバネは、バネ側のスライドユニットに寄せておいてください。



ポイント

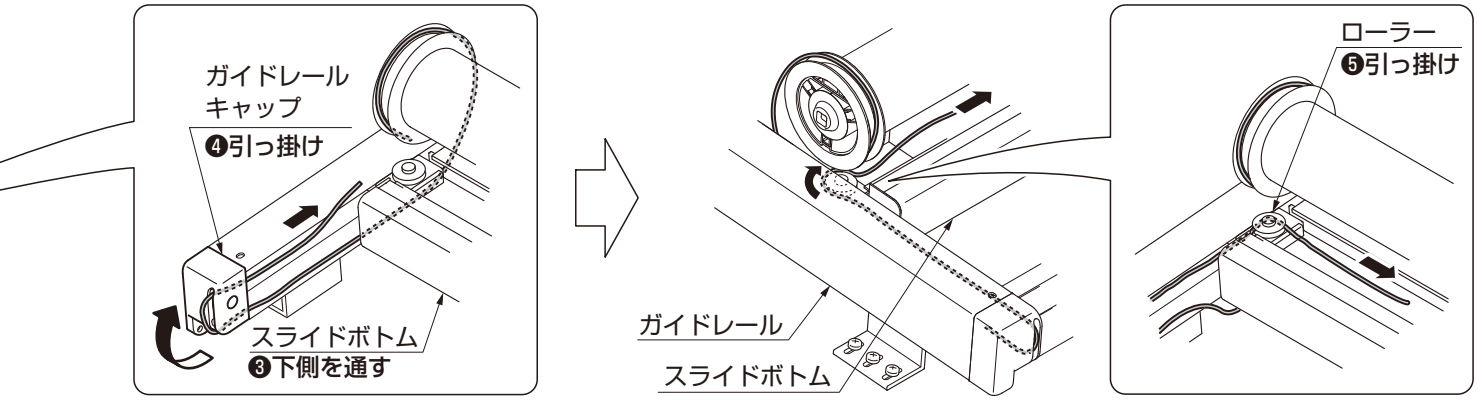
- ●テンションユニットは左右どちらでも配置できます。
- ●スクリーン生地の張り調整はテンションユニット側から行ないます。テンションユニットは作業しやすい側に配置してください。

テンションユニットを外観右に配置



テンションユニットを外観左に配置

ポイント

- ●バネ側の「(2)ワイヤーの取回し」→「(3)バネ側の仮止め」が終わった後に、テンションユニット側の「(2)ワイヤーの取回し」→「(4)テンションユニット側のワイヤーのセット」を行なってください。
- ●取回しの際、ワイヤーの被覆をキズ付けないでください。

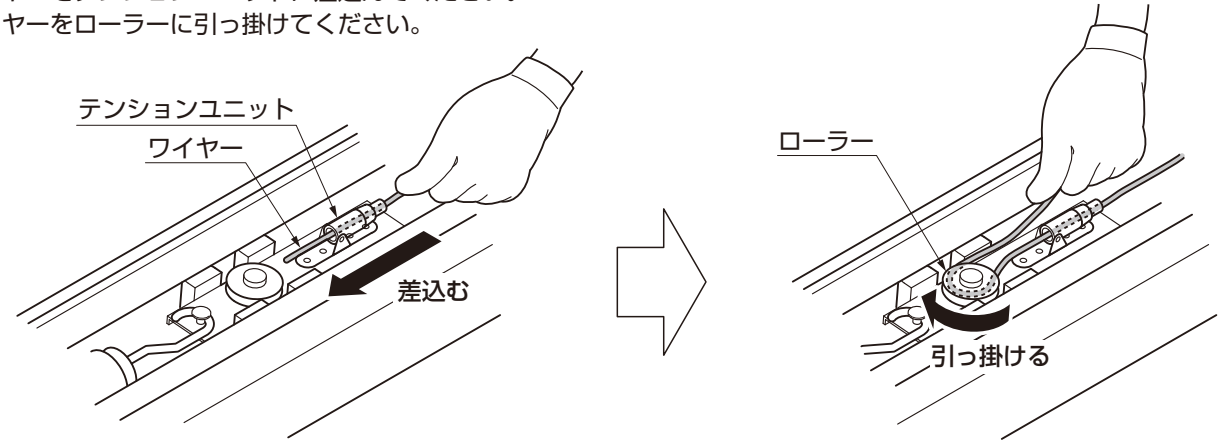


❸ワイヤーを回す
❹ワイヤーを引っ掛ける

❺ワイヤーを引っ掛けて回す

(4)テンションユニット側ワイヤーのセット

①ワイヤーをテンションユニットに差込んでください。
②ワイヤーをローラーに引っ掛けてください。

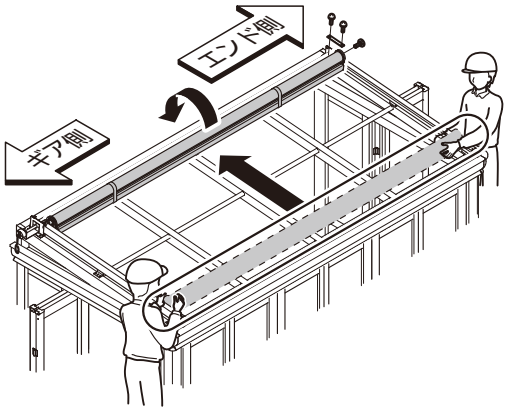


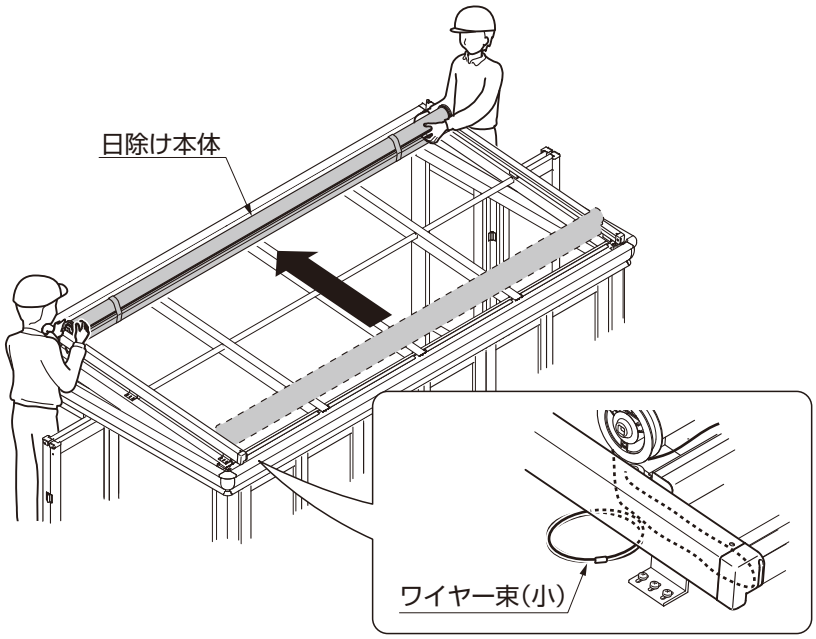
E329_201610E

6-4 日除け本体の取付け

(1)日除け本体の移動

①ワイヤー束(小)を解いてください。
②スライドボトムをガーデンルーム桁と平行を保ちながらレール上端まで移動してください。



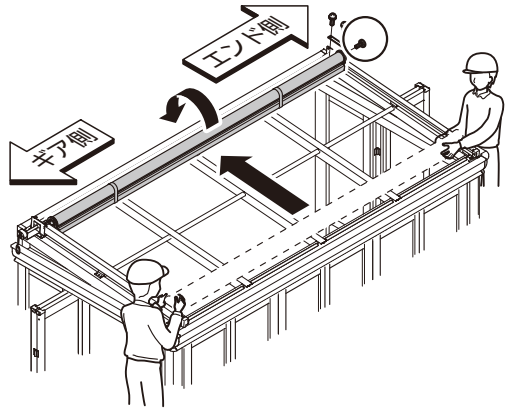


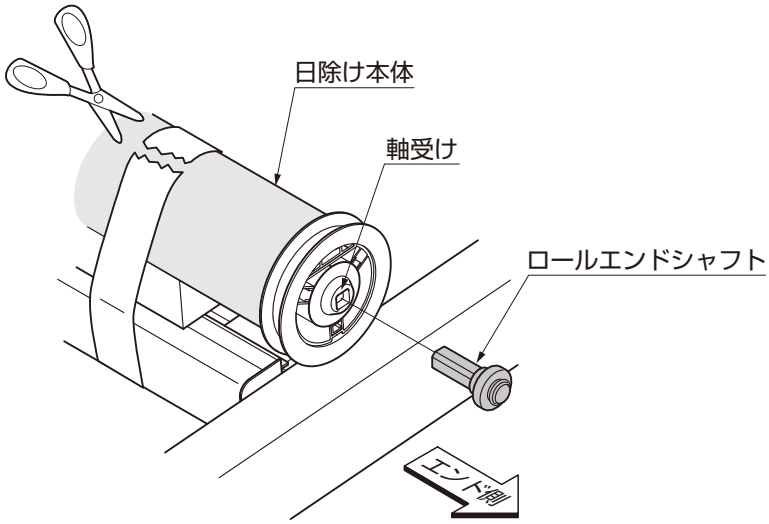
(2)ロールエンドシャフトの取付け　※エンド側のみの作業です。

①ロールエンドシャフトを日除け本体の軸受けに差込んでください。
②日除け本体とスライドボトムの締結を解いてください。

⚠ 注 意

●日除け本体が不安定になるため、脱落や落下に注意してください。

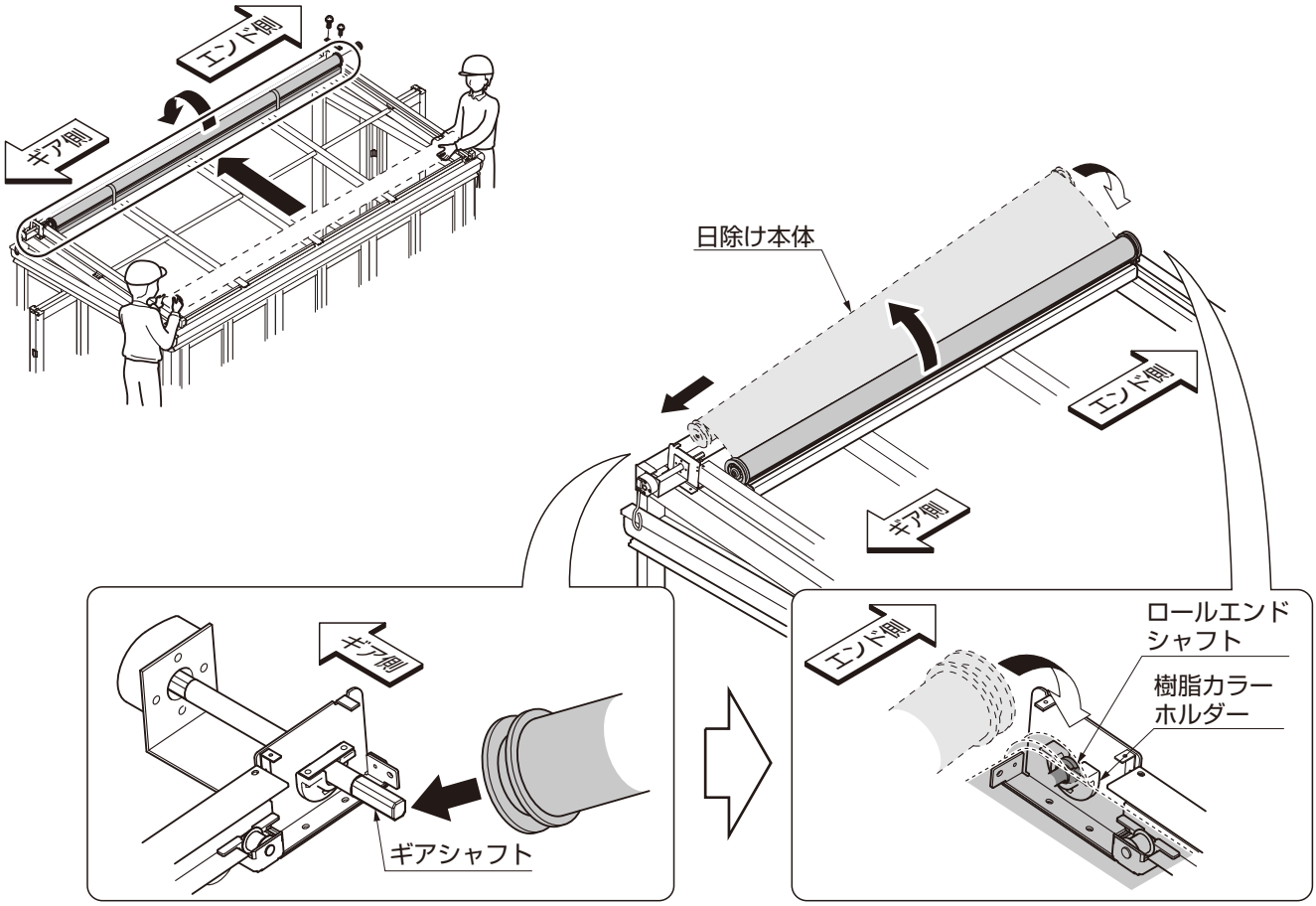




6-4 日除け本体の取付け（つづき）

(3)日除け本体のはめ込み

①日除け本体をギアシャフトに差し込んでください。
②日除け本体のロールエンドシャフトを樹脂カラーホルダーにはめ込んでください。

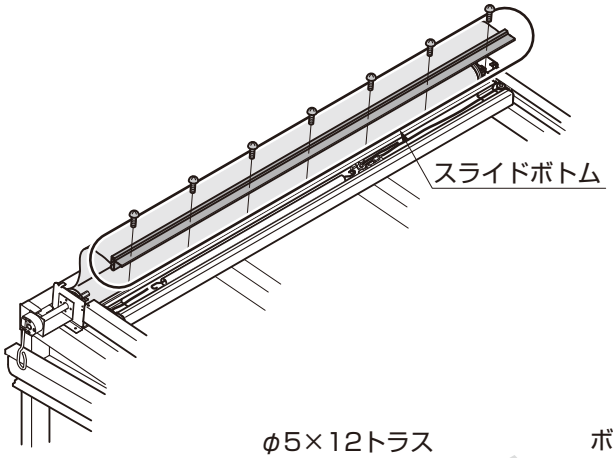


(4)日除け本体の固定　※エンド側のみの作業です。

①樹脂カラー固定板を【ネジ】で取付けてください。

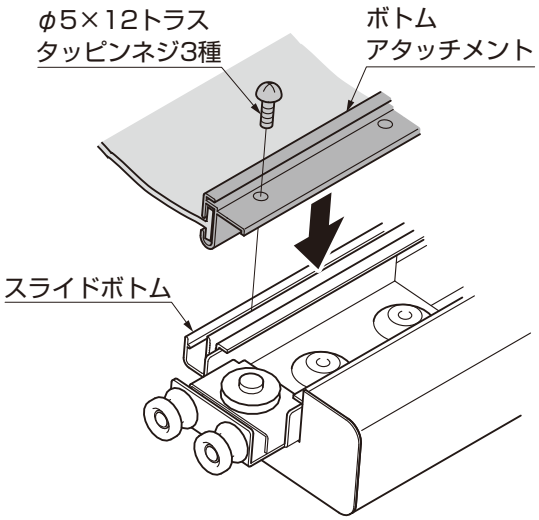
6-5 ボトムアタッチメントの取付け

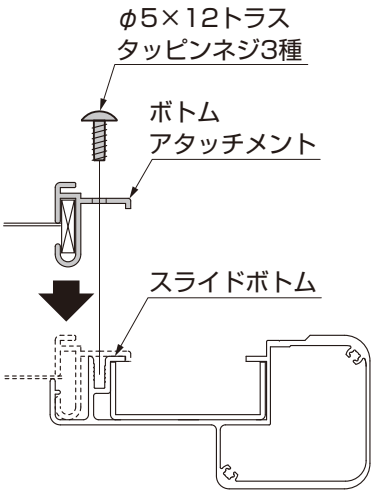
①ボトムアタッチメントをスライドボトムに差込み【ネジ】で取付けてください。



ポイント

- ●スライドボトムアタッチメントとスライドボトムの端部をそろえて取付けてください。
- ●間口サイズが大きく中央よりのネジ止めができない場合、ここの手順では両端部2箇所ずつ固定しておいてください。
  後の手順で、生地を張り出したときに残りのネジ止めをします。



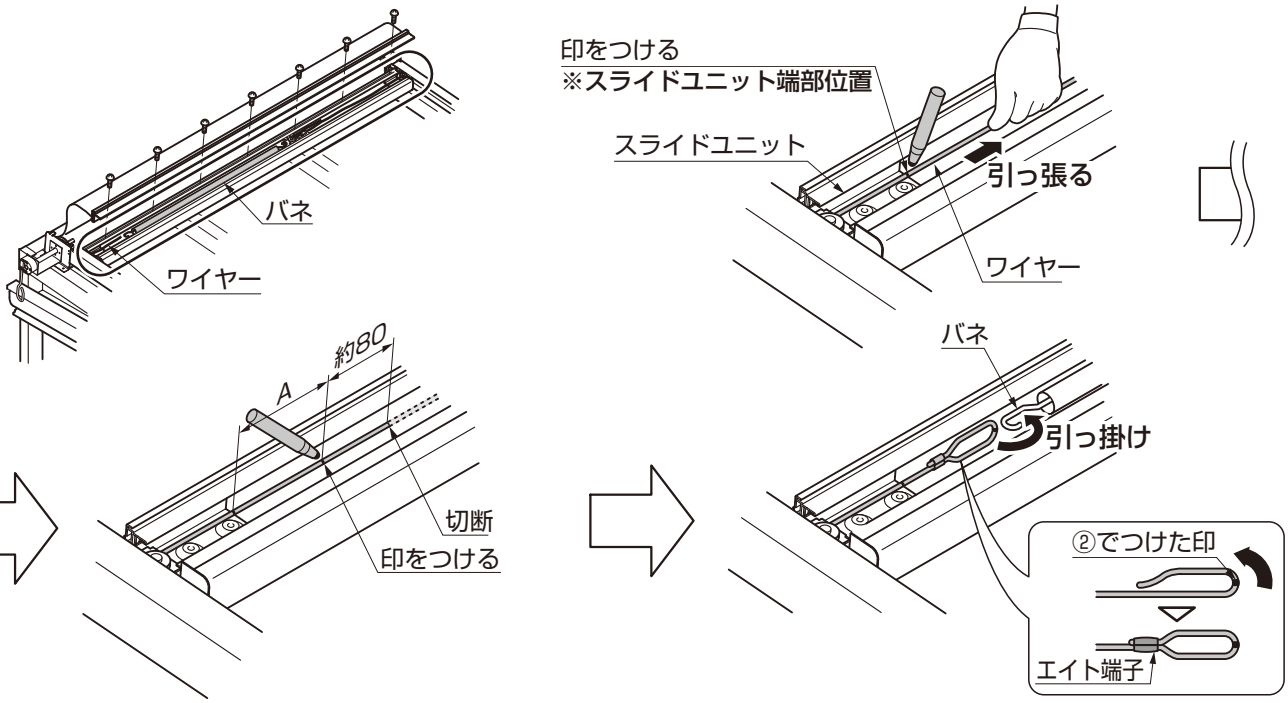


6-6 ワイヤー長さの調整

(1)バネ側

①ゆるみがないようにしっかりとワイヤーを引っ張り、スライドユニット端部で印をつけてください。
②①の印からAの位置でワイヤーに印をつけてください。
③②の印から約80mmの位置でワイヤーを切断してください。
④②でつけた印が頂点になるよう輪を作り、エイト端子を強くカシメてください。
⑤作った輪をバネに引っ掛けてください。

ポイント
●ペンチの歯の部分で強くカシメてください。



A寸法

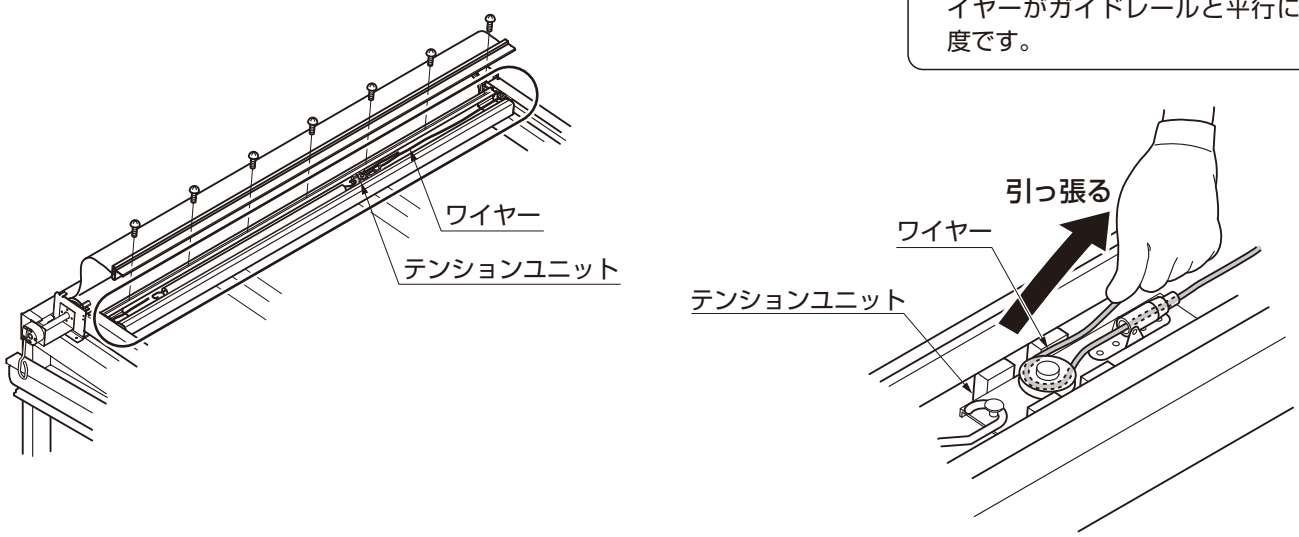
1.0間	1.5間	2.0間
200	1110	2020

※切詰めをした場合
P.8のガイドレールブラケット間(W_1)の寸法を確認してください。
1771＜W≦2681の場合は1.5間のA寸法から切詰め寸法を引いてください。
2681＜W≦3591の場合は2.0間のA寸法から切詰め寸法を引いてください。
例).ガイドレールブラケット間2581mm
1110−(2681−2581)=1010
A寸法=1010mm

(2)テンションユニット側

①バネがのびない程度にワイヤーを引っ張って、テンションユニットから抜けないことを確認してください。

ポイント
●引っ張る目安は、ガイドレール内のワイヤーがガイドレールと平行になる程度です。



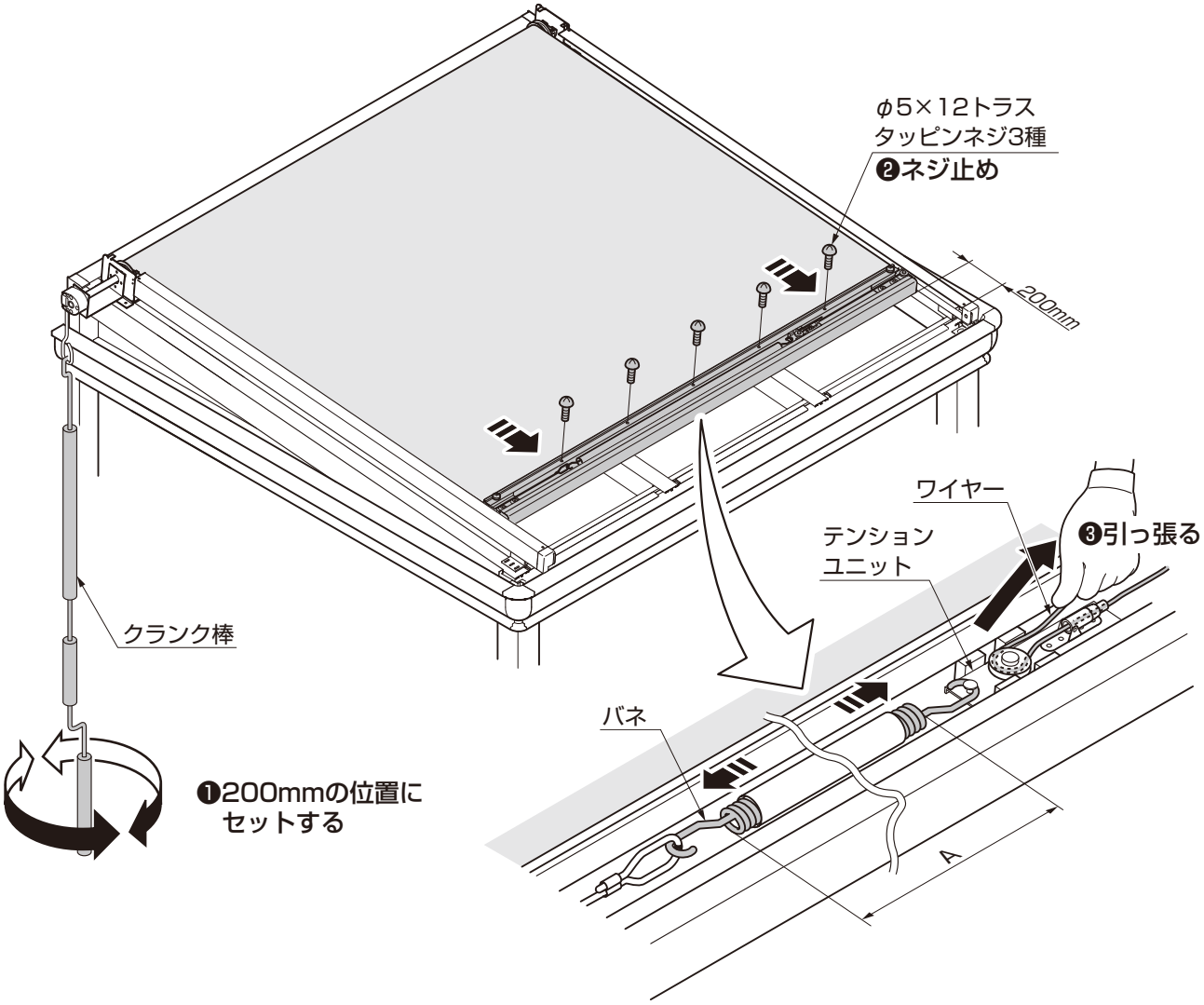
E329_201705F

7 スクリーンの張り調整

①クランク棒を操作してスライドボトム前端をガイドレール端部から200mmの位置にセットしてください。
②「ボトムアタッチメントの取付け」(P.18)で取付けできなかった残りのネジを取付けてください。
③テンションユニットのローラーに引っ掛けたワイヤーを引っ張り、バネの長さをA寸法に調整してください。

ポイント

●張り調整はバネの長さを調整することで行ないます。



バネの長さ(A)：暖簾物語

	6尺	8尺	10尺
1.0間	910	960	1020
1.5間			
2.0間			

バネの長さ(A)：ジーマ

	6尺	8尺	10尺
1.0間	910	960	1020
1.5間			
2.0間			

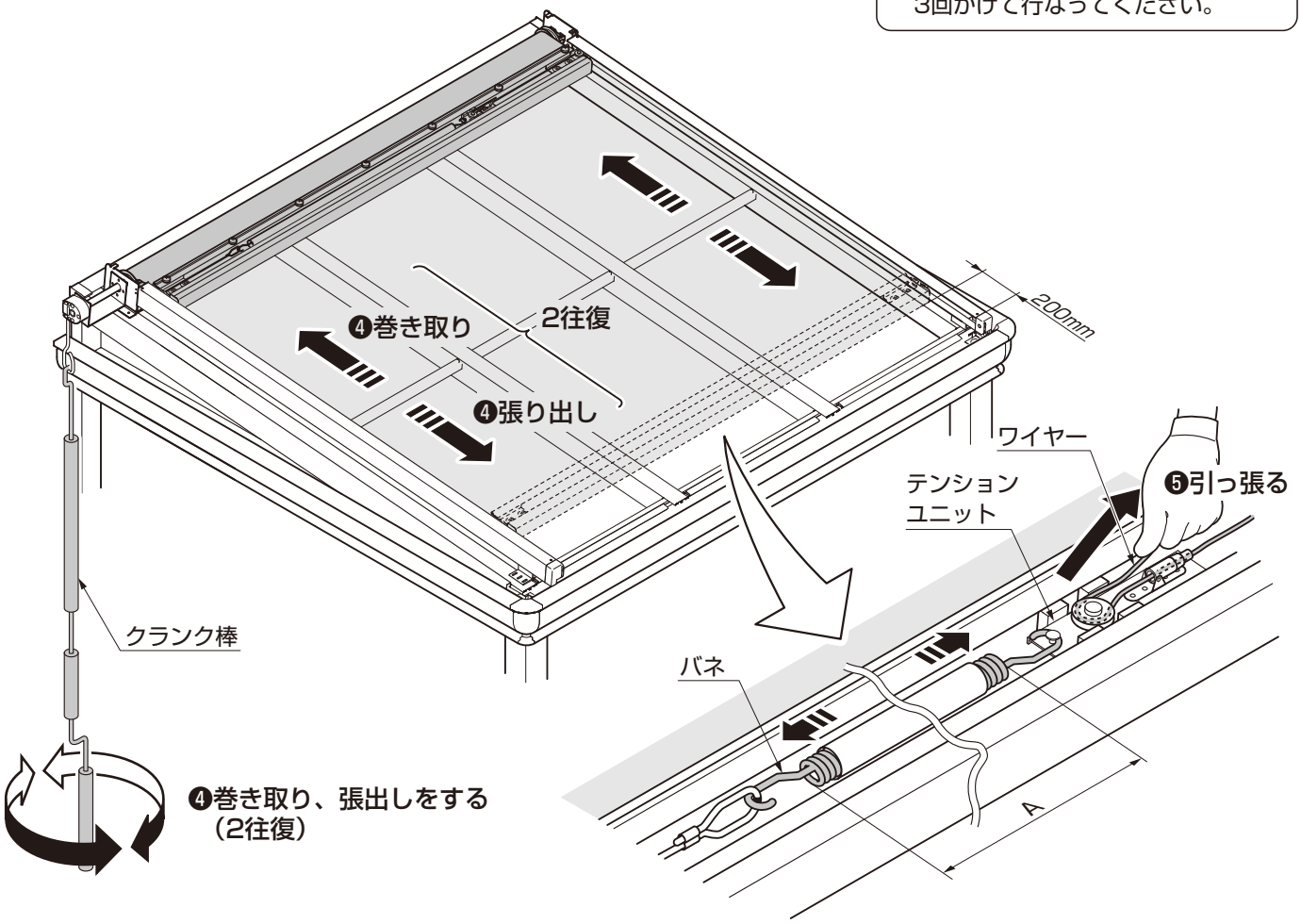
バネの長さ(A)：ココマ

	4尺	6尺	8尺	10尺
1.0間	830	910	960	1020
1.5間				
2.0間				

④スクリーンの巻き取り、張り出し(ガイドレール端部から200mmの位置)を2往復行なってください。
⑤バネの長さを計測して再度、A寸法に調整してください。
⑥④～⑤を3回繰返してください。

ポイント

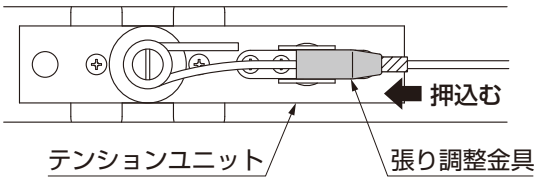
- ●張り調整はバネの長さを調整することで行ないます。
- ●スクリーンの張りを均一にするためにバネの長さ調整は一度に行なわず3回かけて行なってください。

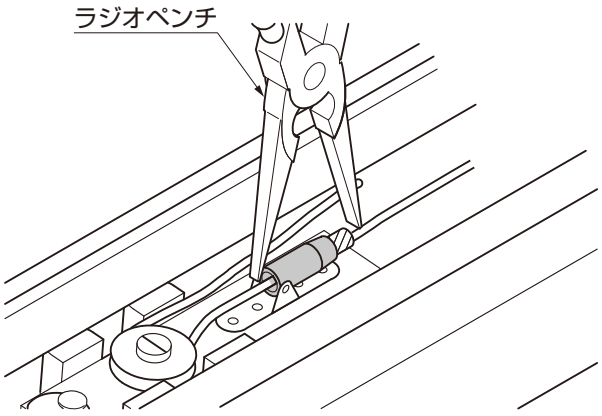


ポイント

【張り過ぎたワイヤーのゆるめ方】

- ●テンションユニットの張り調整金具をラジオペンチなどでつまみ、▨部を押込んでください。





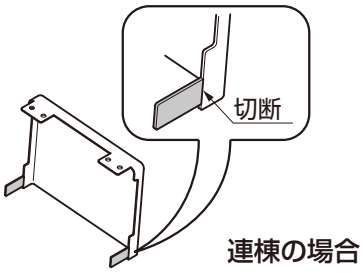
8 カバーの取付け

※使用する潤滑剤は必ずシリコンスプレーを使用してください。金属用潤滑剤は使用しないでください。

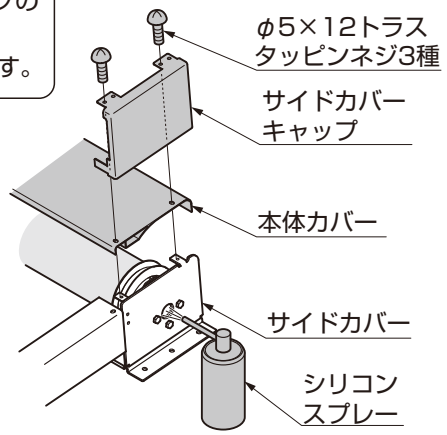
①エンド側のサイドカバーの穴より樹脂カラーに向けてシリコンスプレーを塗布してください。
②本体カバーとサイドカバーキャップをサイドカバーに【ネジ】で取付けてください。
③スライドボトムローラーにシリコンスプレーを塗布してください。
④両側のスライドユニットのネジを締めてください。
⑤スライドボトムカバーをスライドボトムに差込み【ネジ】で取付けてください。
⑥注意シールを見やすい場所に貼付けてください。

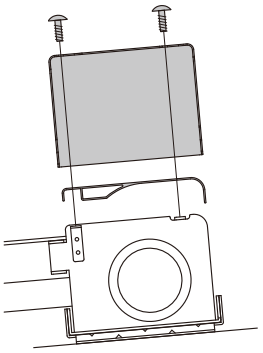
ポイント

●連棟の場合は、連棟側のサイドカバーキャップの突起部(2箇所)を切断してください。
●ギア側はサイドカバーキャップの取付は不要です。

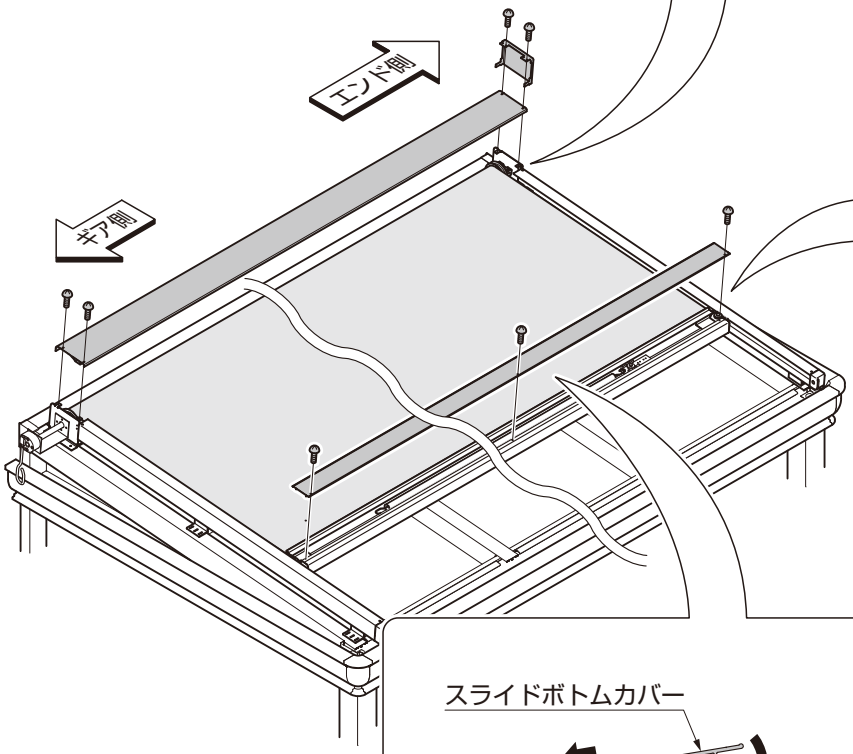


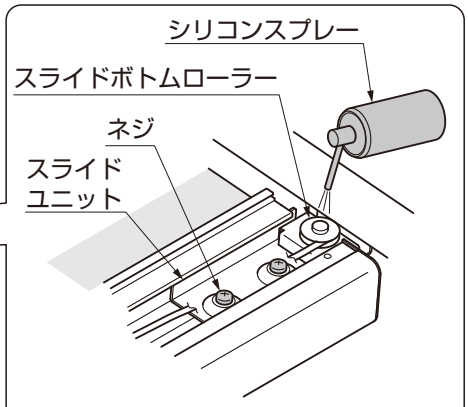
連棟の場合



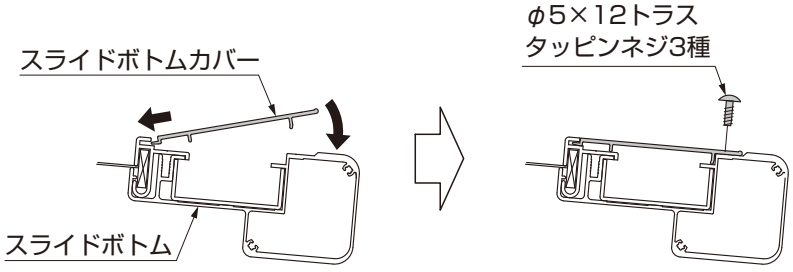


❶シリコンスプレーの塗布
❷サイドカバーキャップの取付け





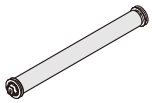
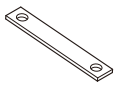
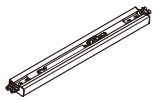
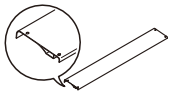
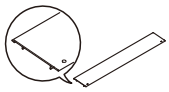
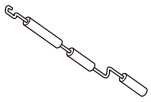
❸シリコンスプレーの塗布
❹スライドユニットの固定



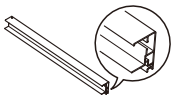
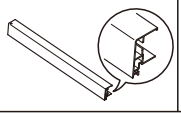
❺スライドボトムカバーの取付け

9 梱包明細表

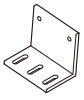
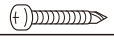
日除け本体セット　※開梱しても日除け本体とスライドボトムの締結は解かないでください。

名　称	略　図	員　数	名　称	略　図	員　数
日除け本体		1	樹脂カラー固定板		2
スライドボトム		1	ローラーエンドシャフト		1
本体カバー		1	樹脂カラー		1
スライドボトムカバー		1	エイト端子		6
クランク棒		1			

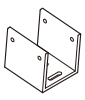
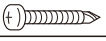
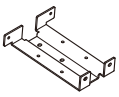
ガイドレールセット

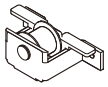
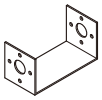
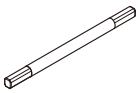
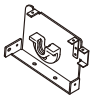
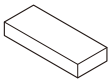
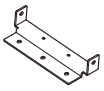
名　称	略　図	員　数	名　称	略　図	員　数
ガイドレール(右)		1	ガイドレール(左)		1

ブラケットセット(単独用)

名　称	略　図	員　数		名　称	略　図	員　数	
		2個入	4個入			2個入	4個入
単独用ガイドレールブラケット		2	4	φ5×35ナベドリルネジ		13	19
				φ5×16ナベタッピンネジ3種		4	8
				M5平座金		13	19

ブラケットセット(連棟用)

名　称	略　図	員　数		名　称	略　図	員　数	
		1個入	3個入			1個入	3個入
連棟用ガイドレールブラケット		1	3	φ5×35ナベドリルネジ		3	13
				φ5×16ナベタッピンネジ3種		4	13
				M5平座金		3	13
連棟用サイドカバーブラケット		ー	1				

部品セット						
名　称	略　図	員　数		名　称	略　図	員　数
ガイドプーリー		2		ギアホルダー		1
ガイドレールキャップ(右)		1		ギアシャフト		1
ガイドレールキャップ(左)		1		スライドボトムストッパー		2
サイドカバー		左右各1		クッション材		2
サイドカバーブラケット		2		φ5×12トラスタッピンネジ3種		38
				φ5×12トラス小ネジ(座金付)		4
				M5×12 六角ボルト(座金付)		4
サイドカバーキャップ		1		M6×40 六角ボルト(座金付)		6
				M6六角ナット		6
				φ4×16ナベドリルネジ		4
クランクギア		1		注意シール		1
				取付説明書〈E329〉	−	1
				取扱説明書〈UE086〉	−	1

取説コード
E329

JZZ623422F
201205A_1039
201705F_1049